

機械器具(21) 内臓機能検査用器具
一般医療機器 再使用可能なパルスオキシメータプローブ 37808000

RESMED パルスオキシメータセンサ 8000J



社内管理用 (T14P1-5)

**【形状、構造及び原理等】

<外觀図>

パルスセンサパッド
パルスセンサコネクタ



<併用医療機器>

本装置は、内臓機能検査用器具（パルスオキシメータモジュール、睡眠評価装置、多用途測定記録装置）と組み合わせて使用する。

<動作原理>

本装置は、酸素ヘモグロビンと還元ヘモグロビンの吸収特性の差を利用して、発光部から放出される赤外光・赤色光を受光部で受け、その測定値を内臓機能検査用器具で解析することにより動脈血酸素飽和度、脈拍数が求められる。

<使用条件>

周囲温度：0～40℃

相対湿度：10～90%（結露のないこと）

**【使用目的又は効果】

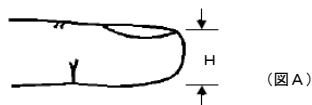
<使用目的>

本装置は、連続的非侵襲動脈血酸素飽和度と脈拍数のモニタリングを要する体重 20kg 以上の成人患者に使用するセンサである。

<使用方法等>

<装着部位の選定>

本装置の取付け箇所は、人差し指が望ましいが、組織厚（図 A-H）が 5～21mm の範囲内である場合には、その他の指あるいは足指でも可。

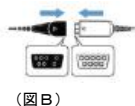


<使用方法>

- ① パルスセンサコネクタをパルスオキシメータモジュールのコネクタに接続する。

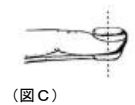
パルスセンサコネクタとパルスオキシメータモジュールのコネクタ上の「△」マークを合わせるように接続する。

（図 B 参照）



- ② 医療用テープの上にパルスセンサパッドを貼り付ける。

- ③ 指先がパルスセンサパッドのほぼ中央まで来るように載せ、残りの部分を指にかぶせるように巻き、発光部分と受光部分が指をはさんで垂直になるように医療用テープで固定する。（図 C 参照）



- ④ 横方向の医療用テープを指に巻き、パルスセンサパッドをしっかり固定する。

- ⑤ より正確な計測のためには、ケーブルを医療用テープで指に固定する。

（図 D 参照）



<使用後>

パルスセンサパッドを固定している医療用テープを取り、指先から取り外す。

**【使用上の注意】

- ・本装置または包装に破損がみられる場合は使用しないこと。
- ・濡らしたり湿度の高い場所に置いたり液体を侵入させてはならない。
- ・研磨剤、塩素系物質、アセトンなどの溶剤を使用して清掃しないこと。
- ・以下の場合、正しく測定できない可能性がある。
 - －パルスセンサパッドが正しく装着されていない場合。
 - －異常ヘモグロビンの量が多すぎる患者。（HbCO, Met Hb）
 - －血液中に色素を注入した患者。
 - －CPR（心拍蘇生術）処置をしている患者。
 - －静脈拍動がある部位で測定している場合。
 - －著しい体動がある場合。
 - －脈波の小さい患者。
 - －併用する医療電気機器から電磁干渉を受ける場合。
 - －強い光が当たる場合。
 - －つけ爪やマニキュアをつけた患者。
 - －推奨される内臓機能検査用器具を使用しない場合。
 - －血流が遮られた場合。
 - －パルスセンサパッド取り付け位置が心臓と異なる高さにある場合。
- ・6～8時間毎に取付け箇所を確認し、うっ血や低温やけど、かぶれ等の異常が無いことを確認すること。
- ・患者の皮膚や健康状態によっては、医療用テープに対してアレルギー反応が生じる場合があるので、そのような場合は、使用を中止すること。
- ・本装置を装着する際にはケーブルが絡まないよう注意すること。
【ケーブルが絡まると血行が阻害されたり、窒息する場合があります】
- ・記録中は血流を遮らないようにすること。【測定値に影響をおよぼすことがある。】

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

使用後のクリーニングおよびメンテナンスは、下記の手順にて定期的に行う。

- ① 外側表面を、中性洗剤液をしみこませてよく絞った柔らかい布で拭く。
- ② 拭いた後は自然乾燥させて、直射日光の当たらない常温、常湿の場所で保管する。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* 製造販売業者：

レスメド株式会社
TEL: 03-5829-4410

製造業者：

Nonin Medical Inc.（アメリカ合衆国）